

令和4年度芦安小学校前期学校評価・教職員自己評価の結果と考察について

評価基準 A：そう思う B：ややそう思う C：ややそう思わない D：そう思わない

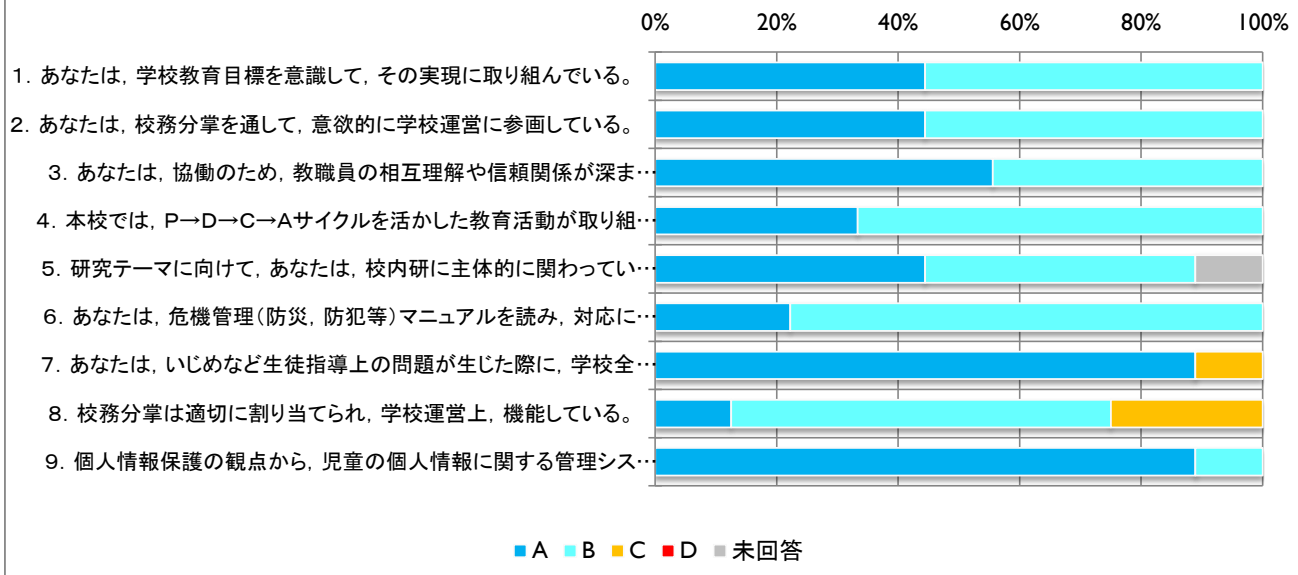
11名回答

評価点数 A：4点 B：3点 C：2点 D：1点

I 学校運営・学校経営

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価
1. あなたは、学校教育目標を意識して、その実現に取り組んでいる。	4	5	0	0	0	3.4
2. あなたは、校務分掌を通して、意欲的に学校運営に参画している。	4	5	0	0	0	3.4
3. あなたは、協働のため、教職員の相互理解や信頼関係が深まるよう努めている。	5	4	0	0	0	3.6
4. 本校では、P→D→C→Aサイクルを活かした教育活動が取り組まれている。	3	6	0	0	0	3.3
5. 研究テーマに向けて、あなたは、校内研に主体的に関わっている。	4	4	0	0	1	3.5
6. あなたは、危機管理（防災、防犯等）マニュアルを読み、対応について理解している。	2	7	0	0	0	3.2
7. あなたは、いじめなど生徒指導上の問題が生じた際に、学校全体で組織的に対応する体制が整備されていると思う。	8	0	1	0	0	3.8
8. 校務分掌は適切に割り当てられ、学校運営上、機能している。	1	5	2	0	0	2.9
9. 個人情報保護の観点から、児童の個人情報に関する管理システムが確立している。	8	1	0	0	0	3.9

I 学校運営・学校経営



○自由記述

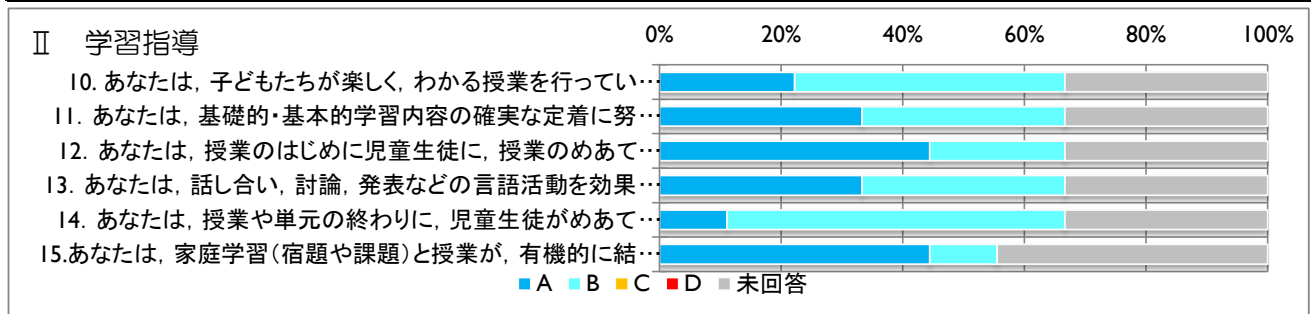
7.小規模校の利点を生かし、管理職をはじめ教職員間でもすぐに情報共有、共通理解がはかれていると思う。
 9.小規模校で教職員の数が少ない分、一人当たりの校務分掌が非常に多く、多忙化を極めている現状がある。小規模校の現状を周知し、少しでも負担軽減につながる体制が整ってほしい。
 小規模校で教職員の数が少ない分、一人当たりの校務分掌が多い現状がある。小規模校のこうした課題を訴え、負担軽減につながる体制づくりの推進されたいと思う。
 少人数の中で回していかなければならない大変さがある。自分に割り当てられているところで一部は十分に出来ていないと感じており申し訳ないと思う。

○自己評価（達成状況・改善策）

学校運営・学校経営について
 8「校務分掌の割り当て」については、小規模校の課題であるが、「会議や出張の負担軽減」など働き方改革と合わせて進めていく必要がある。また職員の負担軽減につながるような体制づくりの観点から、校務分掌を見直す必要があると考える。
 7.いじめなどの生活指導上の問題が生じた際についての項目では、学校全体で取り組む体制づくりが構築されていることがわかるが、職員間の共通理解がとりやすいという小規模校の利点を活かしながら、今後も児童理解に努めていきたい。

Ⅱ 学習指導

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価
10.あなたは、子どもたちが楽しく、わかる授業を行っている。（児Ⅱ-1・保Ⅱ-11）	2	4	0	0	3	3.3
11.あなたは、基礎的・基本的学習内容の確実な定着に努めている。（児Ⅱ-7・保Ⅱ-12）	3	3	0	0	3	3.5
12.あなたは、授業のはじめに児童生徒に、授業のめあて（目標）を示している。	4	2	0	0	3	3.7
13.あなたは、話し合い、討論、発表などの言語活動を効果的に取り入れた指導を行っている。（児Ⅱ-8・9）	3	3	0	0	3	3.5
14.あなたは、授業や単元の終わりに、児童生徒がめあて（目標）を達しているか確かめる「振り返り」の過程を設けている。	1	5	0	0	3	3.2
15.あなたは、家庭学習（宿題や課題）と授業が、有機的に結びつく指導を行っている。（児Ⅱ-10 保Ⅱ-13）	4	1	0	0	4	3.8



○自由記述

15.教壇教諭ではなく、わかりません。

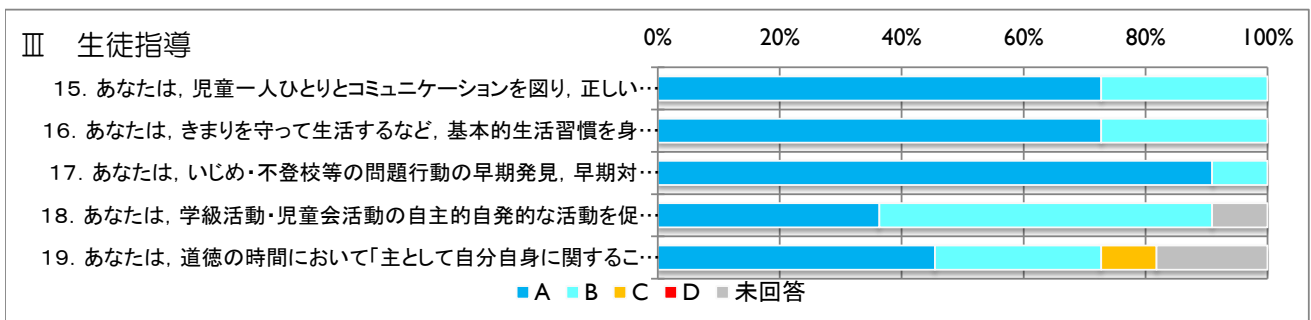
○自己評価（達成状況・改善策）

学習指導について

肯定的な評価が多い。授業の最初に「めあて」を提示する等、「山梨スタンダード」を意識した授業改善が進められていることがわかる。また、家庭学習についても「宿題」等、授業の内容に関する学習を取入れ、各担任が工夫していることがわかる。各家庭でも宿題についてはよく協力していただいているため、児童の家庭学習の成果があがっていると考える。しかし、児童・保護者のアンケートからもわかるように、宿題以外の学習についてはできていない児童が多い。学習習慣を身に付けさせるために、学習方法等についても丁寧に伝えていく必要がある。

Ⅲ 生徒指導

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価
15.あなたは、児童一人ひとりとコミュニケーションを図り、正しい児童理解や共感的理解に努めている。	8	3	0	0	0	3.7
16.あなたは、きまりを守って生活するなど、基本的生活習慣を身につけさせるように努力している。	8	3	0	0	0	3.7
17.あなたは、いじめ・不登校等の問題行動の早期発見、早期対応を行っている。	10	1	0	0	0	3.9
18.あなたは、学級活動・児童会活動の自主的自発的な活動を促し、児童の「心の居場所づくり」となる学校、学級づくりに努めている。	4	6	0	0	1	3.4
19.あなたは、道徳の時間において「主として自分自身に関するこ」を重点的に扱っている。	5	3	1	0	2	3.4



○自由記述

19.道徳の授業を担当していません。

○自己評価（達成状況・改善策）

生徒指導について

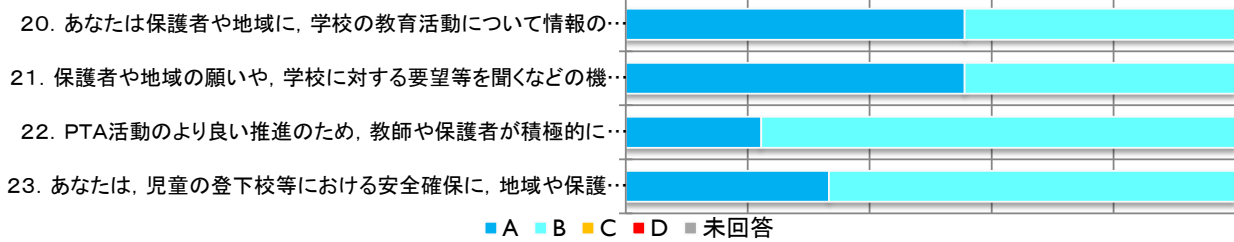
すべての項目で肯定的評価が多い。「17.あなたは、いじめ・不登校等の問題行動の早期発見、早期対応」については、SSWやSCなど専門家との連携をはかりつつ、問題の早期発見・早期対策を行ってきた。具体的には、個々の児童についてケース会議を開いたり、保護者にSCとの相談の場を勧めたりすることができた。また、小規模校の利点を活かしながら、全校児童に多くの職員が声をかけながら、それぞれの児童のよさを認めていく雰囲気がある。「19.道徳の授業」における「自分自身に関すること」については、内容的に難しい部分があるが、学習する価値項目を常に自分自身の生活に関連付けて考えるよう、子どもたちに伝えていくことが大切になる。

IV 保護者・地域との連携

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価
20. あなたは保護者や地域に、学校の教育活動について情報の提供・公開を行っている。	5	4	0	0	0	3.6
21. 保護者や地域の願いや、学校に対する要望等を聞くなどの機会や工夫をし、情報の収集に努めている。	5	4	0	0	0	3.6
22. PTA活動のより良い推進のため、教師や保護者が積極的に関わるよう努めている。	2	7	0	0	0	3.2
23. あなたは、児童の登下校等における安全確保に、地域や保護者とともに積極的に関わるよう努めている。	3	6	0	0	0	3.3

IV 保護者・地域との連携

0% 20% 40% 60% 80% 100%



○自由記述

20.毎月1回くらいのペースですが、保健だよりから情報を提供しよう心がけています。各クラスで学年通信・学級通信を作成し、児童の様子を保護者に伝えている。また、校長が学校だよりを作成し、地域に配付することで、学校の様子を伝えている。HPの更新もできる限り行っているが、今後は、「学校説明会」に向けて、地区外へのアピールも必要になる。
22.PTA活動については、コロナウイルス感染防止の観点から、なかなか通常通りの実施が難しい状況ではあるが、少しずつ関わりがもてるようにしていきたい。

○自己評価（達成状況・改善策）

保護者・地域との連携について

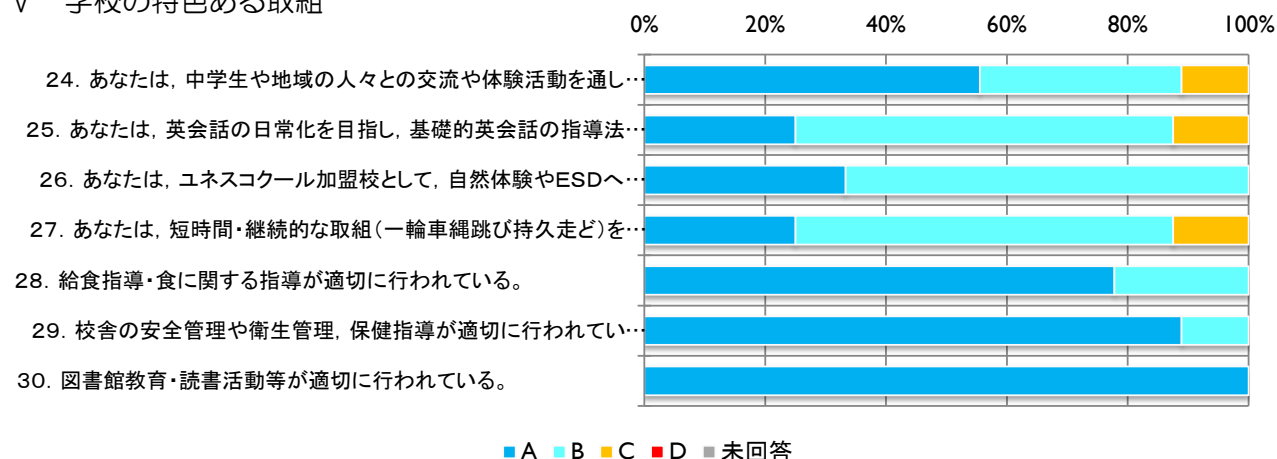
保護者や地域の方々への情報提供は、以前に増して行っている。学校だより・学年通信はもちろん、HP等の充実も考えていきたい。さらに今後は、保護者や地域の方々からの情報を受け入れる仕組みづくりを考えていく必要がある。PTA活動については、コロナウイルス感染防止の観点から昨年度は中止になった行事も多く見られたが、今年度は開催できてきている。PTA行事などの機会を活かして、保護者・地域との連携をとっていきたい。

V 学校の特徴ある取組

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価
24. あなたは、中学生や地域の人々との交流や体験活動を通して、子供たちの豊かな人間性をはぐくんでいる。(児I-5 保I-5)	5	3	1	0	0	3.4
25. あなたは、英会話の日常化を目指し、基礎的英会話の指導法の工夫とコミュニケーション能力の育成を図っている。	2	5	1	0	0	3.1

26. あなたは、ユネスコクール加盟校として、自然体験やESDへの取り組みを進めている。	3	6	0	0	0	3.3
27. あなたは、短時間・継続的な取組（一輪車縄跳び持久走ど）をとおして基礎体力・運動能力の向上と運動の日常化を図っている。	2	5	1	0	0	3.1
28. 給食指導・食に関する指導が適切に行われている。	7	2	0	0	0	3.8
29. 校舎の安全管理や衛生管理、保健指導が適切に行われている。（児Ⅳ-21 保Ⅰ-9）	8	1	0	0	0	3.9
30. 図書館教育・読書活動等が適切に行われている。	9	0	0	0	0	4.0

V 学校の特色ある取組



○自由記述

24. コロナで停止していた交流ですが、今年再開してみて、やはり中学生との交流があることはいいことだと思いました。

25. 自分自身、英会話が苦手で言うだけで申し訳ないのですが・・・。6年間在籍すると朝の会も普通にこなしている。低学年も一緒なので難しいが、少しずつ付け足したり変えたりすることがあってもいいかと思う。

26. 自然体験活動、登山活動などは芦安小ならではの学習機会なので大切にしていきたい。

28. 食に関する指導などは特別なことは出来ていない。栄養教諭からの給食指導資料、給食掲示資料の取り組みで精一杯で申し訳ない。

29. 毎月、授業の貴重な時間を頂き、体重測定・保健指導をさせてもらって感謝しています。また、げんキッズ（保健指導資料）へも協力していただきありがとうございます。

○自己評価（達成状況・改善策）

学校の特色ある取組について

「29. 校舎の安全管理や衛生管理、保健指導が適切に行われている。」「30. 図書館教育・読書活動」については、ほとんどの職員が肯定的評価をつけている。どちらも、養護教諭・司書が積極的に全校に働きかけ、その成果を感じることができている。今後も継続していきたい。他の項目も肯定的な評価が多くなっている。

「25. 基礎的な英会話の指導」については、イングリッシュゲームや英語での朝の会など、児童が英語にふれる機会が多く、英語への興味関心も高い。今後は活動に少しずつ変化を加え、児童の英語への興味関心をさらに高めていきたい。

VI その他（自由記述）

・小中合同活動があるので、日課表など工夫することで、うまく運営することが出来ないか。（できるかわからないが、午後のスタート時間をそろえるとか・・・。日課表を工夫して上手く回るかもわからないのですが。）

・外部講師について 芦安小中は少人数ですが個性のある子がいます。1人1人が大切な戦力になる中で、子どもの特徴を理解していただき可能な範囲で柔軟な対応をしていただけると嬉しいなと。（難しいと思いますが）あくまでも個人的な意見です。小中連携を図ろうするばかり、小学校での学習共有があまりできていないような気がしています。

昨年度、保護者から教師の質も落ちているという指摘があったと前任の管理職から周知されていました。その点から考えると、小学校教諭同士の授業を見せ合う場があることで、授業改善、自己の分析、子ども達の実態も見えてくると感じています。

少人数の割には課題のある児童が多い学校です。全員が全員上記の意見をもっているとは限りませんが、難しいとは思いますが、校内研究の中で、小学校だけの時間を設けたり、あるいは夏季休業中に学習会みたいなものを開くのも一つかもしれません。

偉そうなことは言えませんが、少人数の学校だからこそ、より深い学びをすることもでき、そのやってきたことをPRできるようにすれば、小中学校の先進校にもなると思います。